

平成19年度事業報告書

特定非営利活動法人 みやぎ野生動物保護

1 事業の成果

傷病野生鳥獣に対して、救護、治療、飼育、リハビリ、傷病鳥獣の自然復帰、自然保護の啓蒙活動を実践し、環境保全に寄与した。

2 事業の実施に関する事項 平成19年7月1日～平成20年6月30日

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
傷病野生鳥獣の救護に係わる事業	傷病野生鳥獣を救護し、自然復帰出来るまでの世話 キジバト 24羽 ドバト 16羽 ツバメ 11羽 ヒヨドリ 10羽 オオハクチョウ 8羽 ハシボソガラス 8羽 ホンドダヌキ 8羽 スズメ 9羽 レースバト 7頭 カルガモ 6羽 トビ 10羽 カモメ 5羽 ハシブトガラス 4頭 ホトトギス 4羽 ヤマシギ 4羽 アオバズク 3羽 アブラコウモリ 3羽 コサギ 3頭 コハクチョウ 3頭 チョウゲンボウ 4羽 その他鳥獣 82羽(頭)	多賀城市八幡保護センター内	40人	県内全域の傷病野生鳥獣を救護。 死亡 118個体 外部依託 21個体 返却(Rハト) 6個体 放鳥獣 59個体 (逃亡) (6個体) 継続飼育 31個体 総数 235個体
講演会の開催及び講師派遣事業	企業及び学校等へ講師を派遣し、自然保護と環境保全の啓蒙を奨める	宮城県内全域	1人	聴講者 約1750人
ボランティアの研修及び研修学生の受け入れ	依頼があった学校からの研修生の受け入れ及び、各種団体の集団研修	宮城県内全域	3人	受講者 106人

護センター

支出額 (千円)
1,063.5
0
0